

交流のひろば

おたより コーナー

障害者への理解 広がっています

昭和町二丁目 戸塚 登志江 59
わたしは先日、花火大会に出掛け
たとき、大変うれしい気持ちになり
ました。というのも、わたしは車い
すを使用しているのですが、警察を
はじめ、警備係の人や見物客にも道
を開けてもらって、安全に花火を見
ることができたからです。

古い前橋市内の風景写真をお
持ちの人は、市役所広報広聴課
890-6642へお願いします。

まちのニュース

NEWS

小学生奏でる 日本の音色

城東町四丁目

城東町四丁目では週末、小学生
が同町会館で琴の練習に打ち込ん
でいます。本年度から学校週五日
制が始まり、地域の交流を深めよ
うと琴の体験教室を同町自治会が
開催したところ、子どもたちに大
好評。もっと琴を習いたいとの声

数年前にも、花火を見に行ったこ
とがありました。しかしその時は、
人に押されたり、倒れそうになっ
たりして、怖い思いをしたのです。そ
の記憶が残り、その後は、近くまで
見に行きたいけれど、混雑するの
で行けない、とあきらめていました。
今年、たまたま十五日に親せき
が来ていたので、会場へ出掛けるこ
とに。最初は少し気が重かったの
ですが、出向いてみると、皆さんのお
陰で、気持ちよく、安心して花火を
見ることができました。

現在では少しずつ、人々の間に障
害者に対する理解が広まってきてい
るのだと、感激しています。来年は
障害を持つほかの人にも、もっとた
くさん花火大会を楽しんでもらいた
いと思います。

が上がり、七月に「城東町四丁目親
子お争の会」が発足しました。
練習を始めて二カ月足らずですが、
上達の早さに先生もびっくりしてい
る様子。十月に行われる市青少年健
全育成大会のオープニングに出演が
決定し、晴れ舞台に向けて演奏曲さ
くら21」の練習にも熱が入ります。
同町の黨明良自治会長は「子ども
たちに琴の話をしたら、とっても興
味深そうだったんです。早速この会
をつくりました。練習を通して、子
どもたちに自主性や協調性、人を思
いやる心、感動する心を育ててほし
いですね」と話していました。



まえばしの今と昔

一日300トンの 処理能力

六供清掃工場

昭和四十六年に完成した六供清
掃工場です（写真上、写真下は現
在）。公害問題などに万全を期した



連続燃焼式放射型機械炉二基が
設置されました。総工費四億五
千万円、一日の処理能力は三百
。現在の清掃工場は、平成三
年に建設されました。



8月15日号の「敷島公園
ボート場」は、前橋公園下ボ
ート場でした。訂正します。